



第17回ASEAN+3(中国、日本、韓国)エネルギー大臣会合における共同声明(仮訳)

2020年11月20日

“持続可能な発展に向けたエネルギー転換”

序論

- 1 第17回ASEAN+3(中国、日本、韓国)エネルギー大臣会合(17th AMEM+3)が、2020年11月20日、バーチャル形式で開催された。会合では、ベトナムのダン・ホアン・アン商工副大臣が議長を務め、中国のリン・シャンクイン国家能源局(NEA)副局長、日本の江島潔経済産業副大臣、および韓国のチュ・ヨンジュン通商産業資源部(MOTIE)エネルギー資源副大臣が共同議長を務めた。またこの会合には、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、およびタイのエネルギー大臣が出席した。
- 2 各国大臣は、ASEAN+3諸国が、エネルギー安全保障、エネルギー転換、エネルギー強靱化に向けたパートナーシップとイノベーションを強化することにより、エネルギー分野におけるパンデミック後の持続可能な経済回復の対応を追求することに取り組んでいることを確認した。各国大臣は、ASEAN諸国が、国家安全保障と経済回復の最適なバランスを見ながら、経済的負担と供給途絶リスクをバランスさせることで、強靱化を目指していることについて言及した。各国大臣は、COVID-19パンデミックからの経済回復と温室効果ガスの排出削減の両方の目標を達成するため、すべてのエネルギー源、すべての技術を活用した現実的で実効的なエネルギー政策の重要性を認識した。各国大臣はまた、ネットゼロ排出に向けた日中韓3カ国による最近の発表を歓迎し、関連するエネルギー政策における情報と経験の共有に期待を寄せた。
- 3 各国大臣は、第38回ASEANエネルギー大臣会合(AMEM)によるASEANエネルギー協力行動計画(APAEC)フェーズ2:2021-2025の承認を歓迎し、知見・情報交換、能力開発プログラム、共同研究・出版、実証プロジェクト等の様々な活動を通じたAPAECの実施を強く支持することを改めて表明した。

エネルギー安全保障

- 4 各国大臣は、2020年9月30日にバーチャル形式で開催された第17回ASEAN+3エネルギー安全保障フォーラムを主催したカンボジアと日本に感謝の意を表し、産業、輸送、建築部門が最終消費の大半を占め、石炭と石油がこの地域の主要なエネルギー供給源となることに言及した。各国大臣は、ASEAN+3地域におけるエネルギーの動向と見通しに関する情報交換を継続し、石油、天然ガス、石炭、民生用原子力エネルギー、エネルギー安全管理における更なる協力を促進することを奨励した。
- 5 各国大臣は、COVID-19が、電力需要の減少、石油精製・探査プロジェクトの削減、再生可能エネルギープロジェクト開発の遅延など、この地域のエネルギー部門にとって前例のない課題をもたらしていると指摘した。各国大臣は、経済活動や日常生活を支える安価でクリーンなエネルギーを安定的に供給することの重要性を再確認した。各国大臣は、ASEANにおけるエネルギー転換が、化石燃料から再生可能エネルギーへの転換だけではなく、パンデミック後の復興に向けて、低廉で信頼性の高い、強靱でよりクリーンなエネルギーの選択と技術に焦点を当てていることを認識した。
- 6 各国大臣は、2020年9月29日にバーチャル形式で開催された第8回石油備蓄ロードマップ(OSRM)をカンボジアと日本が主催したことに感謝の意を表し、OSRMの活動をAPAECフェーズ2:2021-2025に整合させることに留意した。ASEAN+3間の石油備蓄協力に関する情報と最良事例の共有を継続し、COVID-19下でのオンライン協力としてオンラインプラットフォームを通じたニーズ調査や訪問国の検討を行うことに留意した。各国大臣は、ASEAN諸国による戦略石油備蓄(SPR)システムの強化のための政策やガイドラインが改善していることに留意した。各国大臣はまた、2020年2月17日から20日にASEANエネルギーセンター(ACE)と石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)が共催した、ASEAN加盟国における石油備蓄開発の課題に焦点を当てた「石油安全保障に関する能力開発」の実施に留意した。
- 7 各国大臣は、ASEAN+3諸国が低炭素経済への転換を支援するため、クリーンコール技術(CCT)の導入を積極的に促進していることに言及した。各国大臣は、優良事例の普及、フォーカスグループディスカッション、政策ワークショップ、研究・開発・実証プロジェクトを通じて、クリーンコール技術、二酸化炭素回収・利用・貯蔵(CCUS)、及びカーボンリサイクルの協力を強化することを奨励した。各国大臣は、APAECフェーズ2:2021-2025の実施において、日中韓の三カ国がASEAN石炭フォーラム(AFOC)を引き続き支援することを奨励した。各国大臣は、ACEと石炭エネルギーセンター(JCOAL)が作成した「エネルギー転換時代における石炭火力発電所の新たな役割に関する共同政策報告書」を歓迎した。各国大臣は、技術進歩と政策支援を通じたクリーンコール技術の中国と日本の支援を評価した。

- 8 各国大臣は、ASEAN+3諸国における原子力リテラシー、国民の受容と意識、原子力科学技術に関する人的能力開発に関する継続した協力を認識した。各国大臣は、ASEAN+3諸国における民生用原子力発電の開発に関する核の安全、セキュリティ及び保障措置の重要性に留意し、核セキュリティ、保障措置、核物質の国内計量管理制度(SSAC)及び国際的な核不拡散の枠組みに関する能力開発活動の実施に際し、日本原子力研究開発機構(JAEA)の核不拡散・核セキュリティ総合支援センター(ISCN)のイニシアティブに期待した。各国大臣は、小型モジュール炉(SMR)を含む発電用の民生用原子力エネルギー開発における最良事例と経験を共有するために、ASEAN+3メカニズムを引き続き活用することを奨励した。

石油市場および天然ガスフォーラム、ならびにビジネス対話

- 9 各国大臣は、2020年9月28日にバーチャル形式で開催された第9回ASEAN+3石油市場天然ガスフォーラムをカンボジアと日本が主催したことに感謝の意を表明した。各国大臣は、COVID-19の石油・ガスセクターへの影響とASEAN+3諸国における持続可能な回復のための計画に関する情報共有を評価した。各国大臣は、ASEAN+3の石油・ガスセクター、特にCOVID-19の影響への対応とパンデミック後の持続可能な回復計画について、政策の更新、最良事例や経験、ビジネス機会に関する情報共有を継続することを奨励した。
- 10 各国大臣は、COVID-19の衝撃が、ASEAN+3地域における製油所やLNGインフラプロジェクトの開発や実現可能性に影響を与え、また、失業などの社会経済的な問題も引き起こしたことに懸念を表明した。各国大臣は、持続可能で包括的な回復の達成に向けた資金アクセスの拡大を可能にするため、ASEAN+3諸国が、政府、金融機関、民間セクターとの協力を強化することを称賛した。
- 11 各国大臣は、エネルギー安全保障改善のための石油と天然ガスの本質的な役割、また低炭素の未来に向けた段階的な移行を支援する上での天然ガスの役割を強調した。各国大臣は、小規模LNG、LNGバンカリング、水素、CCUSを含む石油とガスのバリューチェーンにおける脱炭素化とデジタル化のための技術革新を促進することによって、ASEAN+3諸国が拡大する可能性と関心を探ることを奨励した。
- 12 各国大臣は、この地域においてガス需要が大幅に増加していることに留意し、天然ガスの利用から期待される経済的・環境的利益をさらに研究するよう、地域の国々に促した。各国大臣はまた、天然ガスと液化天然ガス(LNG)の利用を拡大し、地域における天然ガスとLNG市場の成長を支えるインフラを開発するための協力を、強力かつ目に見える形で

コミットメントすることの重要性を再確認した。各国大臣は、2020年10月12日にバーチャル形式で開催された第9回LNG産消会議2020における日本のイニシアティブに言及した。

新・再生可能エネルギー及び省エネルギー

13 各国大臣は、フィリピンのマカティ市で2019年11月28日に開催された第14回ASEAN+3新・再生可能エネルギー(NRE)・省エネルギー(EE&C)フォーラムをフィリピンと日本が主催したことに感謝の意を表明した。各国大臣は、協力の進展とイニシアティブを認識し、水素経済、電気自動車、デジタル化、輸送部門における省エネルギーにおけるモノのインターネット(IoT)、気候変動対策と環境、社会ガバナンス(ESG)を推進するための企業価値、廃棄物エネルギー、スマートコミュニティとグリッドシステム、海洋再生エネルギー、洋上風力などの具体的なプロジェクトを開始するよう、ASEAN+3諸国に奨励した。

14 各国大臣は、カンボジア、ラオス、ミャンマーにおける第7回及び第8回行動計画作業部会(APWG)、能力開発ワークショップ、中小企業のための省エネルギーシステムに関する事前実現可能性調査の実施を含む、ASEAN+3緩和協力プログラムに関する韓国エネルギー庁(KEA)とASEANエネルギーセンター(ACE)の協力の継続を歓迎した。各国大臣は、カンボジア、ラオス、ミャンマーにおける省エネルギー(EE)プログラムの設立と省エネルギー(EE)市場の拡大を奨励した。

15 各国大臣は、省エネルギーセンター(ECCJ)とACEが共同で実施しているASEAN-日本省エネルギーパートナーシップ(AJEEP)及びAJEEPプログラム下の省エネルギーワークショップ(ECAP)を通じた省エネルギー能力の開発に関する日本の継続的な支援と関与を評価した。各国大臣は、ASEAN諸国のエネルギー管理者のためのトレーニングオブトレーナー(TOT)に関するAJEEPスキーム2の2021年までの2年間の延長と日本の経済産業省の支援に留意した。各国大臣は、AJEEPスキーム3を通じラオスとカンボジアで行われてきた省エネルギーに関する法規制開発の着実な進展を歓迎した。

16 各国大臣は、2020年10月12日のSOME+3 EPGGで日本から提案されたデマンドレスポンス(DR)とバーチャルパワープラント(VPP)の利用のためのエネルギー管理システム(EMS)、及びIoT機器制御用通信プロトコルに関連した能力開発プログラムを歓迎した。

17 各国大臣は、2019年11月27日にフィリピンのマカティ市で開催された第1回CEFIA官民フォーラムを歓迎した。各国大臣は、CEFIAミッションステートメントに留意し、ネットゼロエネルギービル(ZEB)、RENKEI制御、再生可能エネルギーハイブリッドマイクログリッド技術などのフラッグシッププロジェクトの実現をASEAN+3諸国に促した。APAECフェーズ2:2021-2025

の実施に貢献するために、各国大臣は、CEFIAフラッグシッププロジェクトの実施における協力の更なる強化の必要性を改めて表明し、第2回CEFIAフォーラムに期待を寄せた。

- 18 各国大臣は、地域における水素利用促進のための活動と、ASEANと日本の協力の下での電気自動車政策の研究プロジェクト、特にWell to WheelがASEAN諸国に与える影響を歓迎した。
- 19 各国大臣は、ACEと東南アジア教育庁(SEAMEO)が共同で開催した第1回ASEANエネルギー青年賞への韓国エネルギー庁の支援を評価した。各国大臣は、賞の継続に期待を寄せ、エネルギー分野における若者の参加を奨励した。

クリーンエネルギー円卓会議

- 20 各国大臣は、2020年10月30日にバーチャル形式で開催された第3回ASEAN+3クリーンエネルギー円卓会議を主催したベトナムと中国に感謝した。各国大臣は、再生可能エネルギー機器の導入や既存の再生可能エネルギー政策促進等、再生可能エネルギー比率向上に資する優良事例の共有や取組に関する議論を通じた、円卓会議の成果・提言に留意した。各国大臣は、この円卓会議がクリーンエネルギーに関する協力を促進し強化するためのプラットフォームであることに留意した。各国大臣は、第4回ASEAN+3クリーンエネルギー円卓会議が、2021年に中国で開催予定の第5回東アジアサミットクリーンエネルギーフォーラムに合わせて開催されることに留意した。
- 21 各国大臣は、ACEと中国再生可能エネルギー技術研究所(GREEI)が共同で実施し、第3回ASEAN+3クリーンエネルギー円卓会議で発表された「ASEANにおけるエネルギーアクセスビリティの実践的経験と展望」及び「ASEAN諸国における太陽光発電の革新的な大規模開発と推奨される応用事例のためのロードマップ」に留意した。本報告書は、この地域におけるエネルギーアクセスの向上と再生可能エネルギーの展開、特に太陽光発電を促進するための参考となり得るものである。
- 22 各国大臣は、2025年の発電設備容量のうち再生可能エネルギーの比率を35%にするというASEAN諸国の目標に資する情報共有と意見交換のためのプラットフォームである「ASEANにおける太陽光発電容量のシェア拡大に向けたアプローチ」に関する中国の活動に留意した。これは、2025年までに再生可能エネルギー比率を一次エネルギー総供給量(TPES)の23%にするという意欲的な目標の達成に貢献するものである。各国大臣はまた、ASEANにおける分散型太陽光や、水力発電ハイブリッドシステム、洋上太陽光、農業・漁業・エネルギー貯蔵、及び最良事例を組み合わせた多様な形態の太陽光発電の適用可能

性を検討するために提案された活動を歓迎した。各国大臣は、中国・ASEANクリーンエネルギー能力開発プログラムの積極的な貢献を認識し、また、プログラムへの継続支援を実施する。

23 各国大臣は、「新技術によるASEANの風力発電の成長ポテンシャルの拡大」、「ASEANにおける洋上太陽光市場の成熟度の向上」という中国のイニシアティブと、2021年に実施予定の「ASEANにおけるコロナ後のグリーン経済回復を支援するための太陽光発電の利用」というACEとCREEIとの共同提案に留意し、関連する活動に期待を寄せた。

次回会合

24 ASAEN+3諸国、ASEAN事務局、ACEの代表団は、第17回ASEAN+3エネルギー大臣会合のための温かなもてなしと素晴らしい手配をしてくれたベトナム政府と国民に感謝の意を表した。

25 各国大臣は、第18回ASEAN+3エネルギー大臣会合を2021年にブルネイ・ダルサラームで開催することに合意した。